

# 学びをひろげる (第15回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

## まる (わたしと○人の会)

日時 2016年3月12(土) (1時45分~5時)  
場所 クレオ大阪東  
(大阪市城東区鳴野(しぎの)西2-1-21 ☎06-6965-1200)  
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。



京橋駅 (JR線) 南口から南へ約600メートル  
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)  
4番出口から東へ約700メートル  
京橋駅 (京阪線) 中央口から南へ約850メートル

一人で拡がらない学びを○(まる)人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



### 前回 第14回の内容

吉岡数子さんの「教科書総合研究所」を訪ねるツアーを企画しました。

自宅を改装されて、1階・2階・3階を研究所・資料室として開放されています。大学の研究者や学生、小中高校の教職員、韓国・ベトナムなどアジアを中心とした外国の学生たちが研究や資料探し、あるいは吉岡さんの話を聞くために連日のように来館者があるそうです。また、学校から呼ばれてゲストティーチャーとして子どもたちの前に立ったり、職員研修の講師もされています。館内は、教科書をはじめとする多岐にわたる資料と、授業実践された教材や、他の学校など教育現場を回ったときの資料が写真とともに整理されておかれています。それが並大抵の整理力ではありません。話の中で「(松森の)授業を参観した時のことも、3階の右側の棚の2段目にピンクのファイルがあるので、その最初に載せていますよ」とすらすらと説明されます。その通りの場所に見つけた、ずしんと重い大型ファイルを開けると、18年前の2年生たちと「カエルのへそはなんこ?」と、「ゼロのかけ算」を学習していた時の授業記録と写真、吉岡さんが子どもたちと話し合った感想が載せてあるといった具合です。そのようにして50年、60年にわたる記録と、貴重な資料が展示されています。

ご自身が「いつでも止めてくださいね、私止まりませんので」と言われるように、いったんしゃべりだすと次々と言葉が紡ぎだされてくるようで、あっという間に時間が過ぎてゆきます。「しゃべりたいこと」、いや「伝えたいこと」「伝えねばならないと覚悟を決めていること」があるのだと、その熱のこもった語り口調からひしひしと感じます。

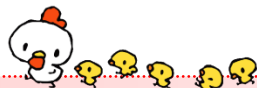
当日は新年会もかねて夜遅くまでご自宅で話し続けましたが、それをまとめて報告するなど到底できるものではありません。ぜひ皆さんご自身で、教科書総合研究所を訪ね、直接吉岡さんとお話することをお奨めします。その時は前もっての連絡予約を忘れずに。■教科書総合研究所：

〒590-0026 堺市堺区向陵西町1-9-3 ☎072-232-7808 JR 阪和線三国ヶ丘駅下車徒歩10分



研究会のようす

### 今回 第15回は



浅田芳正さん：「教育は教えないこと! ~考える力を育てる~」

“学びの会”常連の参加者で、いつも貴重な発言をされる浅田芳正さんが、奈良日日新聞に1年間連載されていた教育コラム「教育は教えないこと! ~考える力を育てる~」が、この度出版されることとなりました(3月中旬 奈良日日新聞社より発刊予定)。出版を機に、今回は浅田さんに、この刺激的で、なかなか奥深い題名をテーマに、浅田さんの実践と教育思想を大いに語っていただこうと思います。

本の紹介文から引用します—40年間にわたる浅田氏の教師としての体験を赤裸々に綴ったものです。子どものつぶやきを聞き漏らさず、一人ひとりと真摯に向き合い、その子の持つ能力を引き出し開発することにチャレンジ、次々とユニークな授業を生み出しました。退職後も「浅田教育塾」を主宰、すでに教師になった教え子や元大学教授、主婦、会社員、ジャーナリストらを自宅に招き、「本物の教育」を求めて熱い論議を繰り広げています—ご期待ください!

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☎gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本 (☎yamamoto5.cham@gmail.com) 堀 (☎hori720@hotmail.com)

★次回第16回研究会は、2016年6月25日(土)午後1時45分~5時 クレオ大阪東 で行います★